

## 【連絡先】

ご意見・ご要望がございましたら、  
ご遠慮なくお寄せください。  
連絡先 TEL3908-7146  
FAX3905-7650  
メールアドレス naganuma@kita-jimin.jp  
ホームページアドレス  
http://www.kita-jimin.jp/naganuma/

責任ある区政を推進

平成25年12月号

# 区議会自民党 活動レポート

北区議会議員

## 永沼かつゆき



## 初心を忘れず、心の絆を大切に

### 本年11月の定例区議会で質問（要旨）



#### 地域防災

【永沼】▷災害時の飲料水や生活水の確保が必要。また井戸水や貯水槽の整備、医療優先井戸が必要である。こうした施設に継続的に補助金を支援すべきである。

▷災害時、子どもたちは防災頭巾をかぶって避難することになっているが危険である。ヘルメットを整備せよ。

【区長答弁】▷災害時の飲料水の問題は重要と考えており、引き続き区民の飲料水の確保に努めたい。医療の水は重要であり支援などを検討する。

▷新たな製品を研究するとともに、学習に支障がないところの収納法について検討する。

#### 高齢者対策について



【質問】▷健康寿命を延ばすためには、予防という考えにもっと力を注ぐべきではないか。ストレスや「うつ」などの心理的な因子や所得、職業階層教育、ソーシャルキャピタル（地域、つながり、絆に満ちた社会）などの格差が健康に大きくかかわってくる。人びとの絆が強いほど健康になることは分かっている。区でも介護予防事業やふれあい食事会、サロンなどの事業を行っているが、これにもっと多くの方々に参加できるようにすべきであ

る。区の考えはどうか。

【区長答弁】区で現在実施している介護予防教室や高齢者ふれあい食事会、ふれあい交流サロンなどは高齢者同士の交流の場となっている。これらの事業に参加することにより、地域のつながりや、ソーシャルキャピタルが豊かになると思っている。多くの参加ができるように創意工夫したい。

#### 東京五輪の開催について



TOKYO ● 2020

祝 開催決定

【質問】西が丘には、オリンピック選手たちが練習する施設があるが、隣接する板橋区の方が注目されている。恵まれた資源を有効に生かしオリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、北区をもっと積極的にアピールする。また選手をはじめスポーツの好きな人びとが赤羽や十条に集まるよう気運醸成をはかるべきである。

【区長答弁】交通インフラは都市計画道路を整備するとともに、必要に応じてバス事業者等への働きかけ、公共交通ネットワークの充実を図る。障害者も含め誰もが移動しやすい鉄道施設や道路のバリアフリー化についても関係事業者と進めていく。さらに小中学生を対象に、ナショナルトレーニングセンターと連携を図りながら各競技で

#### 永沼かつゆき

東京都北区出身、44歳、第二岩淵小学校（現在なでしこ小学校）、赤羽中学校（現在赤羽岩淵中学校）卒、明海大学歯学博士、明海大学非常勤講師、東京都北歯科医師会公衆衛生委員、東京都歯科医師連盟参与、同北支部顧問、倫理法人会幹事、ながぬま歯科医院院長、（2012年）北区議会区民生活委員会委員、防災対策特別委員会委員、健康づくり推進協議会委員、（2013年）企画総務委員会副委員長、交通環境対策特別委員会委員、議会運営委員会委員、自民党議員団副幹事長、生活安全推進協議会委員、都市計画審議会委員。

活躍した選手の技術や競技経験を生かしたスポーツ教室の開催なども検討していく。十条や赤羽をはじめとする地元商店街や関係機関とも十分連携を図りながら、おもてなしスポーツユニバーサルデザインなどの視点に立った環境整備を推進し「トップアスリートのまち・北区」として積極的に取り組んでまいりたい。

#### 24年度決算特別委で質問

#### 小中学校の生活リズムについて

【質問】家庭での生活習慣に大きな課題が見られ、日々の学習や心身の発達など様々な面で影響を及ぼしていることが指摘されている。生活習慣シートにより学習時間、読書時間、就寝時間の改善など、また保護者の意識が高くなるといった効果が認められているが、どのように考えているか。登下校時に町の人びとにあいさつすることで相互コミュニケーションがとれ安全にもつながっていくと考えるかどうか。

【区長】生活習慣シートについてはいろいろな事例を研究し、取り組むために研究する。挨拶ボランティアについては、地域の輪として広げていくということなので、北区のサブファミリーなどの単位を活用し、地域が子どもを見守り育てるといった体制をつくっていききたい。